

## 観察会報告

# 三保真崎海岸のビーチコーミングと東海大学博物館の見学

横山謙二



雨の中、参加者集合



拾った貝の種類を調べる

2023年1月14日に静岡市清水区三保でビーチコーミングと東海大学海洋科学博物館・自然史博物館の見学会を行いました。当日は、あいにくの雨でしたが大人15、子供3人の参加がありました。

まず午前中は、三保真崎海岸にてビーチコーミングを行いました。三保真崎海岸では、波が穏やかなためか、あまり大きいミズウオのような魚類は打ち上がりませんが、様々な種類の貝類やヒトデ類、甲殻類などが漂着します。中にはイワハダカやアユ稚魚などの小さい魚が打ち上げられていることがあります。私はこうした打ち上げられた魚を拾うため波打際を丹念に見て回りました。しかし、この日は波が弱かったためか、打ち上げられた魚を見つけることができませんでした。他の参加者では、クサフグの死骸を見つけた人もいたようです。

はじめてから2時間ほど経過したころ、参加者の皆さんを集め、まとめを行いました。まとめでは、参加者の皆さんが集めたものを持ちよった貝などを高山壽彦さんに見てもらいました。

拾われた貝類では、マガキやナミマガシフなどの二枚貝やナガニシやメダカラなどの巻貝、またヒラカメガイなどの

カメガイの仲間などがありました。また貝類の他には、トゲモミジガイ（ヒトデの仲間）やサンカクフジツボやアカフジツボなどのフジツボの仲間などが拾われていました。

午後は、東海大学の博物館見学を行いました。東海大学の海洋科学博物館および自然史博物館は、今年度で一般公開をやめてしまうそうです。私は、学生の頃からこの博物館に通い、いろいろなことを学び、臨時職員として勤めたこともある思い出の深い博物館です。

見学は、ここの博物館の元学芸員の柴さんに案内していただきました。

自然史博物館では、私が臨時職員をしていた頃に作製した展示物や仲間らとともに発掘した鯨類化石など、懐かしい展示物がたくさんありました。また海洋科学博物館では、私がいた頃とは少し変わっていましたが、世界でも捕獲数が少ない希少種と言われるメガマウスの剥製を見ることができました。

東海大学の博物館がもう見られなくなることは、非常に寂しく、残念に思います。博物館が展示保存しているメガマウスや県内で発掘された貴重な化石などは、今後どうなってしまうのでしょうか？